

HUGこども

第4号
2007年7月

HUGこどもパートナーズの活動紹介・その4

Nobody's Perfect

カナダの子育て支援プログラム

はじめから一人前の親なんていません。
みんな、まわりからの助けを得ながら親になっていくのです。



完璧な人間などどこにもいません。
完璧な親や完璧な子どもなど、存在しないのです。
子育ては不安がいっぱい。
「もっと自分らしく、安心して子育てしたい!」「ほっとしたい…」そんなふうに思ったこと、ありませんか?
みんなでお互いの子育ての悩みを話し合い、自分にあった子育ての仕方を見つけるための参加型プログラムです。
講座は保育付きで6回以上の連続講座として行われ、その進行役は“講師”ではなく、“ファシリテーター”と呼ばれる認定資格者がお手伝いします。
HUGこどもパートナーズでは、毎年この講座を開催しています。



普及版テキスト
「完璧な親なんていない!」(ひとなる書房)

<http://homepage3.nifty.com/NP-Japan/index.html>

雑記報 ■NPO法人HUGこどもパートナーズ、6月に総会を行い、無事2期目を迎えることができました。パンフレットも新しくなりました。どこかでお目にかかれたら嬉しいです。会員も募集しています! 応援会員は年間1000円、賛助会員は年間3000円。■2007年は選挙の年、参議院選も目の前です。「政治不信」「政治家にうんざり」「入れたい人がいない」…ごもっとも。ですが、ヘンな政治家を選ばないためにもぜひ、投票を! このところ、私たちや子どもたちの未来を大きく左右する重要な法案が十分議論されず、多数決の論理で次々と決まってしまうので心配でなりません。国レベルの問題に私たちが意思表示できる、簡単な方法が投票ともいえます。■私たちの住むまちの問題なら、投票以外にも地域の住民としてできることがいっぱいあります。HUGの仲間としてぜひ考えてみませんか? ■今年度も助成事業が始動。1つ目は子育て支援スタッフの養成と、新米ママへのあやうた講座の各地域開催。2つ目は小学生向けのミニコミ誌発行です。詳しくは裏面をご覧ください。そして興味のある方は、ぜひ参加を! 日々の親子サロンも健在です。いつでも遊びに来てください(7/8月はお休みもあるのでお気をつけください)。サロンスケジュールをお知らせする通信も準備中です。■HUGの毎月定例会はコミュニティスペースよるべで行っています。こちらもすてきな私たちの居場所です。HUGミニコミ誌は秋発行の予定。お楽しみに。

産後の孤独による 育児不安の早期解消プロジェクト

赤ちゃんがもっともっと愛おしくなるような子育て方法があります。それを2つの講座で学び、新米ママに伝える認定スタッフとなって活動しませんか?

①特別講演会 (一般公開)

らくらく子育て家庭支援

子育て家庭の現状とあやうたでの育児伝承

現代の子育て家庭支援に何が 필요한のか、支援の目的と支援者としての課題を考えます。やさしくて誰にでもでき、子どもの成長も助ける技術を学び、子育て家族に手渡す人になってみませんか?

開催日時: 平成19年7月9日(月) 午前10~12時

開催場所: いきいきプラザ2階

参加費: 無料



②あやうたスタッフ養成講座

あやうた講座

あやうたで子育てを伝える地域サポーターになろう

乳幼児(0~2歳)のあやうたの実技を行います。赤ちゃんゲストを呼んで楽しく遊びながら、あやうたを学びましょう。

*その後の学習会へ参加を経て、あやうたスタッフの認定を受けた方は有償での活動ができます。

開催日時: 平成19年7月23日(月) 午前10~12時

開催場所: いきいきプラザ2階

参加人数: 定員30名・要予約 (①を受けた方。それ以外の方は要相談)

参加費: 無料

「もっとあそぼうズムズム」 ~ひがしむらやま小学生つうしん

ただいま
制作中!

小学生むけのミニコミが創刊されます! 8月から児童館などで受け取れます。子どもたちが作るページ、子どもインタビュー、おすすめイベント情報…など企画中。お楽しみに。さあ、みんなでもっとあそぼうよ~!

親おやかフェ

子どもが小学生になって、ちょっと困っていること、誰かに話してみたいこと、ほかの学校のことを聞いてみたい…などなどあるものですね。ゆったりお茶を飲みながらおしゃべりしませんか。

日時: 毎月第3木曜 10~12時

場所: コミュニティスペースよるべ

費用: 500円(おちゃとケーキ付)

問い合わせ: 090-9821-3879 (佐治)

第12回 北山わんぱく夏まつり

8月5日(日) 10時~ 北山公園にて

◎川遊び(カヌー遊び・ザリガニ釣り・北川ウォーク&魚採りなど)

◎野遊び(火おこし・ゴムプール虫取りキングなど)

※その他Eイサーやライブ、出店もあるよ。みんなで遊びに行こう!



ほくたち子どもの分も入れてね!

子ども

7月29日(日) 参議院議員選 選挙へ行こう!!

子育て、税金、年金……
この国のゆくえは……?

私たちが暮らしやすいまちをつくるためには、私たち子育て世代が政治にも関心を持ち、投票することがとても大切だと考えています。子どもたちのこと、私たちの今、そして未来のことを真剣に考えてくれる政党、政治家を選ぶ目をもたなくちゃ!

期日前投票は…

期間: 7月13日(金) ~28日(土)

時間: 8:30~20:00

場所: 市民センター別館1階

※投票所入場整理券が届いている場合は持参すると受付がスムーズです。

29日は
帰省中…

出かける予定アリ。
帰宅が遅くなったら
間に合わないかも。

子どもを
預けられる日に
済ませたい…。

私たち、「親」の一票は、選挙権を持たない子どもの分も含めた大事な一票です!

市議会ってどんなところ??

ママたちに聞いてみました

なのかな?

■傍聴したことのない方に質問

①「市議会」はどんなところだと思いますか?

- ・お役所独特の難しい言い回しで、シロウトには難解な話をしている(笑)
- ・正直言って、なにをしているところか知らない。
- ・頭がうすくてえらそうなおじさんが、やる気のない様子で座ってる。こわい顔した女の人(赤のスーツ着用)が、大声で叫んでいる。おやじのセンスのない野次あり。
- ・理想は市民の暮らしを第一に話し合っている場。現実には自分のエゴや都合を第一にしている場。
- ・市を運営するにあたって、みんなの知恵を出し合い、より良い市民生活を送れるよう協議する場!……じゃないの!?
- ・議員の思惑が渦巻き、ギスギスしながらも皆さん顔は笑っていて腹の探りあいという感じ!?
- ・市の予算を決める場。

②傍聴に行ってみたいと思いますか?

- ・行ってみたい。だけど、子連れで行っていいのかな?
- ・ぜひ! ツアーで行けたら心強い。
- ・子どもがいるので、興味はあっても実際に行ってみるという選択肢はありませんでした。でも、どなたかに連れて行ってもらえるなら参加してみたい。
- ・実際に見てみたい。傍聴人がいることで、緊張感が出るというかなと思うから。
- ・なぜ行ってみたいと思ったかという、公民館の免除廃止、西口開発、保健所の跡地の内容が議会で承認されたことでだと知ったから。それが不信感になり、その不信感の対象の議会を見てみたいと思った。
- ・自分が投票した議員がどんな質問をしているか見てみるのもいいかな、と思って。

■傍聴したことのある方に質問

①傍聴しようと思ったきっかけは?

- ・市民の大切なことを代表の人達が話し合っている場とは、どんなだろう? いわば、自分の事が話し合われ、決められている場を、ぜひこの眼で見てみたい、と思った。
- ・数年前、保育園問題で大騒ぎだったときに、状況を見に行った。
- ・議会に詳しい知り合いに誘われて。
- ・今回の傍聴ツアーがあったから

②傍聴した感想は?

- ・初めてだったので、傍聴席が高い所で緊張しました。こんなふうに行っているんだなあと思いました。
- ・答弁はずーっと原稿読んでいて眠くてたまりませんでした。
- ・もらった紙にはタイトルしか書いてなくて、何のことをやりとりしているのかわかりませんでした。
- ・霧田さんが苦手で、もう行かないと思います。でも傍聴したい質問はあるので、中継など考えてもらえたらうれしいです。
- ・子ども達が自分達の大切な事を話し合う学級会では、決してやってほしくないことを、全てやって見せてくれている、悪いお芝居のようだ、と思った。いや、ほんと! ぜひ、みんなに見てほしくなった。いきいきプラザ1階のモニターで、中継してほしいです。
- ・ただっ子的ような自己中心的な発言、個人攻撃…、ここはいったい何を話し合う場だったの? と確認せずにはいられませんでした。いろいろな意味でカルチャーショックを受けました。
- ・傍聴の感想は、議論になってないのでもつまらないし、結局多数決で決まるのであんなに長時間とお金使う意味ないと思った。
- ・みにくい個人(市議)攻撃がありあぜんだった。あの様子は子どもに見せられないし、子どもや私たちの方がよっぽど少数意見も尊重するまともな話し合いをする。絶対テレビやパソコンで見られるようにすべき。

ま・ち・こ・ら・む・3

わたしたちの住むまちは…

30年前の 熱い思いを再び

諏訪町 中川祥子

ぼればれ広場^{*}に来る子どもさん達のかわいいこと……。赤ちゃんのお年寄りも、認知症を患っている方々も表情がやわらぎます。そして何よりぼればれ広場に毎回参加している地域の年寄りグループの面々が一番その恩恵に浴しているのです。ありがたいことです。

三十余年前、東村山市には全国から注目された三つの事業がありました。いずれも地域の熱い思いをもった人々により、全国にさきがけて始まったものです。

一つ目は「寝たきり老人訪問看護事業」。事の始まりは医師たちの病弱な老人への熱い思いからでした(『東村山市の訪問看護のあゆみ』^{*}を参照下さい)。三十年後の今、当時この事業に参加された医師のひとりはいこう語っておられます。「種は一粒でも真剣に育てれば大木にもなり、多くの実を結ぶことを教えられた。そしてそのために数知れない力の結集が必要だ。東村山市での五

年間の体験を通して今日があると実感している」。

二つ目は「難病を知る地域の集い」(難病対策委員会)です。難病は当時はあまり知られていませんでしたが、医師たちが難病患者を地域でケアしたいと熱心に語られるのをよく聞いたものです。やがて、市や保健所や医師会がひとつになって、「難病を知る地域の集い」が開かれ、その延長線上に難病患者家族の会「なんてんの会」が生まれました。

三つ目は「老人保健福祉事業」(老人地域サービス)です。市内三町をモデル地区に選び、全ての六五歳以上の方を調査した上で専任職員を置き、老人問題とは何かということに取り組まれたものです。専門委員会(老人問題を研究している大学の先生、医師会等)と、運営委員会(行政、老人会、ボランティア等)と事務局が相互に連携し、常に話し合っていました。地域全体で老人を支える当時としては画期的な事業でした。

残念ながら二つ目と三つ目はすでに消えてしまいました。地域の介護力が問われる今、大変惜しまれます。

今では訪問看護事業は当り前のことになっていきますが、どのようにして始まったのかということをしつかり語り継ぐことが大切だと思えます。これから育ち行く子どもたちのために、私たちは今何をすべきか、必要な事は何か「熱い思いをもった数知れない力の結集」が急がれていると感じています。

市議会【市議会】
[名]市の自治に関する事項について、その意思を決定する議決機関。市議会議員によって組織される。(大辞泉より)

しぎかいぎいん【市議会議員】
[名]市議会を組織する議員。市の住民の公選による。任期は4年。市会議員。市議。(大辞泉より)

報告

第1回市議会傍聴ツアーをおこないました

6月8日あわせて6名の参加がありました。9月議会でも開催予定ですので、興味のある方はお問い合わせください。

ぼうちょう【傍聴】
[名]会議・討論・公判などを、許可を受けて、そのかたわらで静かに聞くこと。○議会を傍聴する ○傍聴席 (大辞泉より)

*1 ぼればれ広場:ぼればれ広場実行委員会が主催する親子サロン。HUGも協力している。
*2『東村山市の訪問看護のあゆみ〜地域ケアのはじまり』東村山市の訪問看護史編集委員会 編集・発行